

平成20年 9月10日

## 平成19年度財務諸表の公表について

今般、平成19年度(第4期)の財務諸表並びに決算報告書等が文部科学大臣から承認され、公表する運びとなりました。公表にあたり、まずは関係各位にご支援等を賜りましたことに、厚くお礼申し上げます。

公表することになりました財務諸表には、平成19年10月の大阪外国語大学との統合により、新たにスタートした新生「大阪大学」の教育研究活動による財政情報が表現されています。

また、新たにセグメント情報をより詳細に区分したことで、大阪大学の財務情報を今まで以上にご理解していただけたと考えております。

大阪大学の財政を取り巻く状況は、国からの運営費交付金が効率化係数や附属病院に対する経営改善係数により減少していることから年々厳しくなっており、長期的展望に立った財政基盤の強化と安定化が求められています。

「地域に生き世界に伸びる」大学として、経費節減や基金の確立、外部資金の獲得の拡大などを図り、健全な大学運営が出来るように財政基盤の強化と安定化に一層の経営努力を続ける所存でございます。

今後とも、より広くのご意見並びにより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

大阪大学理事・副学長(財務・会計及び病院担当)  
門 田 守 人

# 比較貸借対照表

単位：百万円

区 分	平成19年度	平成18年度	増 減	備 考	
<b>I 固定資産</b>	387,130	376,539	10,591	大阪外国語大学との統合により、土地、建物、図書などの資産を承継したこと、PFI事業による研究棟改修により建物等が完成したこと、融合型生命科学総合研究棟などの工事が着工したこと、現金及び預金が寄附金等の受入増により増えたことが主な資産増加の要因です。 構築物、機械及び装置、工具・器具及び備品は、取得額よりも減価償却額が多くなったことが減少の要因です。	
<b>有形固定資産</b>	380,033	369,494	10,539		
土地	223,383	217,391	5,992		
建物	95,857	91,635	4,222		
構築物	4,145	4,714	△ 569		
機械及び装置	422	539	△ 117		
工具・器具及び備品	30,176	32,736	△ 2,560		
図書	23,140	21,109	2,031		
建設仮勘定	1,847	503	1,344		
その他の有形固定資産	1,060	861	199		
<b>無形固定資産</b>	598	556	42		
<b>投資その他の資産</b>	6,497	6,488	9		
<b>II 流動資産</b>	33,967	28,722	5,245		
現金及び預金	26,206	21,885	4,321		
未収附属病院収入	4,962	4,056	906		
その他未収入金	1,090	1,068	22		
その他の流動資産	1,707	1,707	0		
<b>資産合計</b>	<b>421,097</b>	<b>405,261</b>	<b>15,836</b>		
<b>I 固定負債</b>	85,052	85,447	△ 395	固定資産については、償却資産を承継・取得した場合に当該資産の見返りとして、減価償却処理時に取り崩して収益化される「資産見返負債」が大阪外国語大学との統合による承継資産の受入等により増加しています。「債務負担金」の償還による減少に対して、「長期借入金」による大学附属病院設備整備のため新たな借入金約12億円の増加しています。また、流動資産については、「運営費交付金」の債務繰越及び「寄附金」の受入の増加がありました。	
<b>資産見返負債</b>	43,571	41,316	2,255		
<b>債務負担金</b>	28,462	32,562	△ 4,100		
長期借入金	4,122	2,964	1,158		
長期未払金	8,303	7,800	503		
その他の固定負債	592	802	△ 210		
<b>II 流動負債</b>	41,989	37,941	4,048		
運営費交付金債務	2,993	2,467	526		
寄附金債務	12,550	11,510	1,040		
前受受託研究費等	2,226	2,717	△ 491		
未払金	17,575	15,224	2,351		
その他の流動負債	6,643	6,017	626		
<b>負債合計</b>	<b>127,041</b>	<b>123,389</b>	<b>3,651</b>		
<b>I 資本金</b>	268,443	258,139	10,304		大阪外国語大学との統合により資本金（政府出資金）が103億円増資されています。大阪外国語大学から繰り越し承認された積立金を旧法人承継積立金として整理しています。文系総合研究棟などの整備の財源として目的積立金を使用したことにより減少しています。
<b>II 資本剰余金</b>	4,556	7,197	△ 2,641		
<b>資本剰余金</b>	32,853	29,230	3,623		
<b>損益外減価償却累計額等</b>	△ 28,296	△ 22,032	△ 6,264		
<b>III 利益剰余金</b>	21,055	16,534	4,521		
<b>目的積立金</b>	1,769	3,346	△ 1,577		
<b>旧法人承継積立金</b>	389	0	389		
<b>積立金</b>	13,187	8,661	4,526		
<b>当期未処分利益</b>	5,709	4,526	1,183		
<b>純資産合計</b>	<b>294,055</b>	<b>281,872</b>	<b>12,183</b>		
<b>負債純資産合計</b>	<b>421,097</b>	<b>405,261</b>	<b>15,836</b>		

※百万円未満切り捨てで表示しています。

# 比較損益計算書

単位:百万円

区 分	平成19年度	平成18年度	増 減	備 考
<b>経常経費</b>				
業務費	112,255	102,035	10,220	対前年度比10%の増加となっています。これは主に受託研究収入や補助金等の外部資金の獲得に努めたことにより、全体の事業規模が拡大したことが要因となっています。  主な構成は、物件費が604億円(51%:対前年度比14%増)、人件費が548億円(47%:対前年度比7%増)、財政投融資資金借入金返済利息が20億円(2%:対前年度比6%減)となっています。
教育経費	4,038	3,745	293	
研究経費	17,782	16,660	1,122	
診療経費	17,401	15,458	1,943	
教育研究支援経費	2,876	2,812	64	
受託研究費	14,734	11,517	3,217	
受託事業費	566	434	132	
人件費	54,856	51,407	3,449	
一般管理費	2,433	2,352	81	
財務費用	2,050	2,171	△ 121	
雑損	599	3	596	
<b>経常経費合計</b>	<b>117,339</b>	<b>106,562</b>	<b>10,777</b>	
<b>経常収益</b>				
運営費交付金収益	49,210	48,144	1,066	
学生納付金収益	12,135	11,576	559	
附属病院収益	27,283	24,165	3,118	
受託研究等収益	15,609	12,317	3,292	
寄附金収益	4,517	4,111	406	
施設費収益	511	444	67	
補助金等収益	2,274	681	1,593	
財務収益	120	83	37	
雑益	2,709	1,988	721	
資産見返負債戻入	8,099	7,574	525	
<b>経常収益合計</b>	<b>122,472</b>	<b>111,090</b>	<b>11,382</b>	
<b>経常利益(△損失)</b>	<b>5,133</b>	<b>4,527</b>	<b>606</b>	
臨時損失	119	△ 331	450	(※2)
臨時利益	89	330	△ 241	
<b>臨時合計</b>	<b>208</b>	<b>△ 1</b>	<b>209</b>	
<b>当期純利益</b>	<b>5,103</b>	<b>4,526</b>	<b>577</b>	
目的積立金取崩額	137	0	137	
旧法人承継積立金取崩額	468	0	468	
<b>当期総利益(△損失)</b>	<b>5,709</b>	<b>4,526</b>	<b>1,183</b>	
<p>※1 対前年度比10%の増加となっています。主な構成は、資産見返負債戻入を除き、国から措置される運営費交付金収益等が520億円(42%・対前年比6%増)、学生納付金が121億円(10%・対前年度比5%増)、附属病院・財務収益及び雑益が301億円(25%・対前年比15%増)、受託研究等・寄附金などの外部資金収益が201億円(16%・対前年比23%増)となっています。</p>				
<p>※2 臨時損失については、通常の業務では発生しない特殊要因で発生した固定資産除却損、過年度損益修正損、大阪外国語大学統合による承継時物品(50万円未満)の受入処理等が含まれています。臨時収益については、特殊要因による除却に対応する資産見返負債戻入、過年度損益修正益、承継時物品(50万円未満)の受入処理等が含まれています。</p>				

※百万円未満切り捨てで表示しています。

## 目的積立金について

目的積立金とは	当期総利益のうち、現金の裏付けがあり事業の用に供することが可能な額について、文部科学大臣の繰越承認を受けたものをいいます。これは、翌事業年度以降の中期計画に記載された剰余金の使途に使用することができます。																								
当期総利益とは	収益から費用を差し引いた当期純利益に目的積立金取崩額及び旧法人承継積立金取崩額を加えた額となります。																								
当期総利益のうち現金の裏付けがあり事業の用に供することが可能な額とは	(資金性のもの) 受託研究等の間接経費収入や附属病院収入その他の業務収入を増加させた額並びに効率的な事業を実施し、経費を節減した額など、経営努力によるものです。																								
当期総利益のうち現金の裏付けがない額とは	(非資金性のもの) 主なものは以下のとおりであり、積立金として整理されます。 ①附属病院の建物建設資金や設備等の整備のために、財政投融资資金から借入れた借入金債務の償還期間とその財源で取得した固定資産の減価償却期間のずれから生じる借入金元金償還額と減価償却費との差額 ②附属病院収入により取得した固定資産取得額と減価償却費との差額 ③受託研究費等の外部資金に係る間接経費等により取得した固定資産取得額と減価償却費との差額																								
中期計画に記載された剰余金の使途	教育研究等の質の向上及び組織運営の改善に充てる																								
目的積立金の名称	(教育研究等の質の向上及び組織運営の改善)目的積立金																								
当期総利益・目的積立金	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>当期総利益</th> <th>目的積立金</th> <th>積立金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成16年度</td> <td>70億8千4百万円</td> <td>28億4千7百万円</td> <td>42億3千7百万円</td> </tr> <tr> <td>平成17年度</td> <td>53億5千0百万円</td> <td>9億2千6百万円</td> <td>44億2千4百万円</td> </tr> <tr> <td>平成18年度</td> <td>45億2千6百万円</td> <td>—</td> <td>45億2千6百万円</td> </tr> <tr> <td>平成19年度</td> <td>57億 9百万円</td> <td>25億6千9百万円</td> <td>31億3千9百万円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>226億6千9百万円</td> <td>63億4千2百万円</td> <td>163億2千6百万円</td> </tr> </tbody> </table>		当期総利益	目的積立金	積立金	平成16年度	70億8千4百万円	28億4千7百万円	42億3千7百万円	平成17年度	53億5千0百万円	9億2千6百万円	44億2千4百万円	平成18年度	45億2千6百万円	—	45億2千6百万円	平成19年度	57億 9百万円	25億6千9百万円	31億3千9百万円	合計	226億6千9百万円	63億4千2百万円	163億2千6百万円
	当期総利益	目的積立金	積立金																						
平成16年度	70億8千4百万円	28億4千7百万円	42億3千7百万円																						
平成17年度	53億5千0百万円	9億2千6百万円	44億2千4百万円																						
平成18年度	45億2千6百万円	—	45億2千6百万円																						
平成19年度	57億 9百万円	25億6千9百万円	31億3千9百万円																						
合計	226億6千9百万円	63億4千2百万円	163億2千6百万円																						
平成19年度の内容	(資金性のある利益) 当期総利益のうち現金の裏付けがあり事業の用に供することが可能な額は、25億6千9百万円であり、これは間接経費収入や病院収入などの自己収入の増加や効率的な事業を運営したことにより生じたものです。 25億6千9百万円が文部科学大臣への剰余金の申請額となり、承認を受ければ目的積立金として中期計画に記載された剰余金の使途に使用することになります。 (資金性のない利益) 当期総利益のうち現金の裏付けがない31億3千9百万円は、積立金として整理します。																								
目的積立金の使途 (予定を含む)	(石橋)文系総合研究棟(7,298㎡)建設経費 平成20年1月竣工 13億9千7百万円 (吹田)融合型生命科学総合研究棟(9,450㎡)建設経費 平成21年3月竣工予定 14億7千8百万円 動物実験施設整備事業 10億5千0百万円 合計 39億2千5百万円																								

## セグメント情報について

<p>会計基準の改訂</p>	<p>平成19年12月12日改訂「国立大学法人会計基準」により、セグメント区分及び開示内容について企業会計で求められるよりも詳細なセグメントに係る財務情報を開示することが求められています。</p> <p>平成20年2月20日運営費交付金等に関する説明会での文部科学省の説明趣旨は、①セグメントの基本は、大学法人のマネジメント単位、つまり意思決定単位と合致させること。②可能な限り平成19年度から対応すること。③他大学法人との並び等に特段の配慮は不要であるとのこと。</p>
<p>セグメント情報区分の変更</p>	<p>従来の「大学」、「附属病院」、「法人共通」の3区分から、国立大学法人大阪大学予算決算規則で定めた予算単位の48区分をセグメント区分として表示しています。事務局については、大学セグメントから法人共通に含めています。ただし、大阪外国語大学との統合により新設された外国語学部、世界言語研究センター、日本語日本文化教育センターについては、平成19事業年度に限り箕面地区として表示しています。</p>
<p>何に活用し、役立つのか</p>	<p>大阪大学として、48区分のセグメント情報を開示することは、学内的には費用の削減や自己収入獲得の指標に活用し、学外的にはセグメント情報の詳細な状況を広く国民に発信することを目的としています。</p>
<p>業務費用の計上内容</p>	<p>各セグメントの年度計画に実施に係る費用(各部署で計上した費用)に、事務局で計上した各セグメントに係る費用を振替しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・赴任旅費、支払派遣費、支払利息、修繕費(施設部工事)ほか</li> <li>・貸倒損失(授業料)、奨学費(授業料、入学料)</li> <li>・常勤人件費</li> </ul> <p>医学部附属病院セグメント及び歯学部附属病院セグメントの人件費については、国立大学法人会計基準及び国立大学法人会計基準注解に関する実務指針の改定により、帰属主義から勤務状況による記載に変更しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・診療に係る教員人件費の振替             <ul style="list-style-type: none"> <li>医学系研究科から医学部附属病院</li> <li>薬学研究科から医学部附属病院</li> <li>保健センターから医学部附属病院</li> <li>歯学研究科から歯学部附属病院</li> </ul> </li> <li>・病院運営に係る職員人件費の振替             <ul style="list-style-type: none"> <li>歯学研究科から歯学部附属病院</li> </ul> </li> <li>・研究に係る教員人件費の振替             <ul style="list-style-type: none"> <li>医学部附属病院から医学系研究科</li> <li>歯学部附属病院から歯学研究科</li> </ul> </li> </ul>
<p>業務収益の計上内容</p>	<p>各セグメントには部局の努力により獲得した外部資金などの自己収入を表示しています。また、運営費交付金収益及び学生納付金収益は、事務局で一元的に予算管理を行っているため、法人共通に計上しています。ただし、特別教育研究経費、特殊要因経費(退職手当を除く)及び附属病院に係る運営費交付金収益は、各セグメントに計上しています。</p>
<p>業務損益について</p>	<p>業務収益と業務費用との差額を表示しています。主に自己収入、外部資金を多く獲得しているセグメント以外は、マイナスの表示となっていますが、一部の運営費交付金収益と学生納付金収益を法人共通に計上したことによるものです。</p>
<p>帰属資産について</p>	<p>資産は大阪大学として所有していますが、各セグメントが保全、維持、管理している管理区域で使用している資産を計上しています。</p>

## 主な固定資産状況

単位:百万円

区分	所在地	面積(m <sup>2</sup> )	金額
土地	吹田地区(吹田市山田丘・茨木市美穂ヶ丘)	996,659	135,365
	豊中地区(豊中市待兼山町)	445,851	69,250
	箕面地区(箕面市粟生間谷東)	140,400	5,340
	中之島地区(大阪市北区)	1,000	651
	その他(宿舍・学生施設等)(吹田市・豊中市 ほか)	84,973	12,777
	合計	1,668,883	223,383
建物	吹田地区(吹田市山田丘・茨木市美穂ヶ丘)	606,091	64,791
	豊中地区(豊中市待兼山町)	258,581	25,020
	箕面地区(箕面市粟生間谷東)	62,290	3,563
	中之島地区(大阪市北区)	3,994	991
	その他(宿舍・学生施設等)(吹田市・豊中市 ほか)	52,325	1,492
	合計	983,281	95,857
	種別	件数	金額
その他	構築物	4,163	4,145
	機械及び装置	310	422
	工具・器具及び備品	23,645	30,176
	図書	3,846,104	23,140
	美術品・收藏品	262	1,046
	船舶	23	1
	車両及びその他の陸上運搬具	29	6
	建設仮勘定	—	1,847
	特許権	132	55
	ソフトウェア	150	203
	投資有価証券	—	6,477
	その他	486	372
	合計		67,890
	総合計		387,130

### 平成19年度の主な取得固定資産

旧大阪外国語大学に係る固定資産.....評価額127億円  
 土地(箕面地区)140,400m<sup>2</sup>(小野原外国人宿舍)4,725m<sup>2</sup>(白馬山の家)1,206m<sup>2</sup> 評価額60億円  
 建物(箕面地区)62,290m<sup>2</sup>(小野原外国人宿舍)2,740m<sup>2</sup>(白馬山の家)325m<sup>2</sup> 評価額38億円  
 その他(構築物6億、工具器具備品3億、図書20億 その他) 評価額29億円

たけのこ保育園.....事業費 2億円

地上2階建 延面積:621m<sup>2</sup> 2月竣工

文系総合研究棟.....事業費 13億円

地上7階建 延面積:7,298m<sup>2</sup> 1月竣工



たけのこ保育園



文系総合研究棟